

指導のポイント

- ・はじめに指導者がレッスンのデモンストレーションを行い、スポットの位置と、舌尖をスポットにつけた状態を見せます。次に患者さんのスポットを指導者がスティックで押し、鏡を見ながら練習します。患者さんがスポットの位置を覚え、正確に舌尖をスポットにつけられるようになってから、スティックを持たせ、鏡を見て練習してもらいます。
- ・スティックでスポットを圧接して、口蓋のどの部分に舌尖をつけるかを覚えてもらうため、スティックは適度な強さで押すように指導してください。
- ・患者さんに、舌尖でスポットの周辺をさわらせておき、指導者が「スポット」と指示したとき、素早くスポットの正確な位置に舌尖をもっていけるかどうかを試す方法もあります。

注意 舌尖をまるめないうで、スポットにつけるように。
舌尖を静止させ、スポットにつけるように。



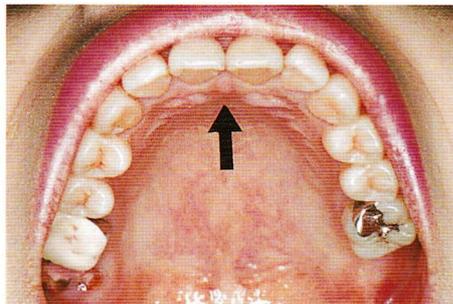
舌尖がまるまった状態

*舌尖が内側にまるまってしまう人は「ベーシックエクササイズ」(特に①②④)を練習し、舌尖を尖らせることができるようになってからこの練習をはじめましょう。また「追加練習」②③を練習するとよいでしょう。

Q スポットとは何ですか？

A 「舌癖のトレーニング」では、安静時や嚥下時に舌尖が触れる位置(口蓋の切歯乳頭後部)をスポットと名づけています。

患者さんの口腔内の状態によりスポットの位置が異なります。トレーニングを行っていく上で舌の正しい位置を覚えることは大切です。口腔内の状態をよく観察し患者さんに合ったスポットの位置を指導しましょう。



スポット (口蓋の切歯乳頭後部)